



# 二俣川ニュータウン地区

高齢化率が高い地域です。



人口 12,513人



6歳未満児数(率) 473人(3.8%)



世帯数 5,056世帯



高齢者数(率) 3,271人(26.1%)



出生数 55人

## 今宿地域ケアプラザ地域

### 懇談会開催日

- 第1回目 平成17年 7月18日
- 第2回目 平成17年 8月23日
- 第3回目 平成17年 9月29日
- 第4回目 平成17年10月19日
- 第5回目 平成17年11月16日
- 第6回目 平成17年12月24日



## 地域の主な福祉保健活動

- ◆ 子育てサロン(わいわいクラブ)
- ◆ サロン活動(サロンあさひ)
- ◆ 中途障害者リハビリ支援(サロンあさひ)
- ◆ 三世代交流事業(福祉まつり)

様々な取り組みや活動の中から、子育て支援、高齢者・障害者支援、世代間交流の3つの視点で主な活動を掲載しています。

## 当面取り組む地域の課題

- 高齢者の生活支援の仕組みづくり
- 緊急時の高齢者の安全確保
- 高齢者地域交流の推進

地域懇談会で、これらの課題から取り組むことが話し合われました。

## 地域での具体的な取り組み

### 取り組みの目標・テーマ

### 高齢者の生活支援の仕組みづくり

#### 取り組みを進めるにあたっての大切にしたい点

まちの高齢化が進み、住民同士の交流も少なくなっています。高齢者にとって住みやすいまちづくりのために、いざというときに身近な場所として役に立つ支援組織をつくります。そのためには従来活動してきた地域の資源を掘り起こし、組織化を図っていきます。

### 具体的な取り組み

**地域の関係団体が課題解決のための連絡会を開催する。**



#### 懇談会参加者

連合町内会関係者  
地区社会福祉協議会関係者  
民生委員・児童委員  
子育て支援グループ関係者  
保健活動推進員  
青少年指導員  
ボランティアグループ  
老人会関係者  
小学校PTA関係者  
中学校教員

# 二俣川ニュータウン地区の

目 標  
テーマ

高齢者にやさしく、みんなが住みやすいまち

## 大切にしたい点

### 高齢になってもくらしやすいまちづくり

まちの高齢化が進み、住民同士の交流も少なくなっています。高齢者にとって住みやすいまちづくりのために、いざというときに身近な場所として役に立つ支援組織をつくります。そのためには従来活動してきた地域の資源を掘り起こし、組織化を図っていきます。

## 課題

### 緊急時の高齢者の安全確保

- ◇まち全体がオールドエイジ化
- ◇災害時や緊急時の高齢者の安全が心配である

### 高齢者の生活支援の 仕組みづくり

- ◇高齢になってゴミ出し等日常生活に苦勞している住民も多い
- ◇高齢者の細かな依頼に対応できる組織が必要である

### 高齢者の地域交流の推進

- ◇ひとり暮らしの高齢者が多い
- ◇回覧板が回りきらないなど地域活動に支障がある
- ◇いざというときの高齢者の支援ができるように、所在確認やお互いの情報交換が重要である



# 課題、目標テーマ

## 目標 テーマ

### お互いに声を掛け合い、防犯に取り組むまち

#### 大切にしたい点

##### 住民参加による総合的な防犯対策

これまで地域で取り組んできた防犯対策をさらに拡充していきます。ハード面での対策だけでなく、活動の組織化や協働・情報公開など多くの住民参加によるソフト面での防犯対策を目指します。

#### 課題

##### ハード面の防犯対策

- ◇空き巣に入れやすい場所がある（見通しが悪いところなど）
- ◇個人でも自宅の周りなどの防犯に注意する（足場を作らない、見通しを良くするなど）
- ◇街灯や防犯灯などを整備する

##### 防犯活動のネットワーク化

- ◇地域で取り組んでいる防犯活動の組織化や統一化・協働をはかる
- ◇防犯に関する情報公開を活発にする（被害状況や注意喚起情報を回覧）

## 目標 テーマ

### 地域住民同士の交流があるまち

#### 大切にしたい点

##### 日常的な交流を活性化する

近年、住民の日常的な交流が希薄になっており、地域の高齢化や防犯という面でもさまざまな課題が生じています。日常的な交流活動を見直し、活性化する必要があります。

#### 課題

##### 地域住民活動の活性化

- ◇地域の役員を引き受けると負担が大きいとの声がある

##### 日常生活圏と行政区域の調整

- ◇地域住民組織が多くて複雑である
- ◇小学校や町内会・交番等の各区域が異なっていて、わかりにくい